

	井上会長	<p>(1) 情報発信の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 匝瑳市が知られていない ② 移住の情報が届いていない <p>(2) 移住者の不安要素の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活環境 ② 仕事の有無 ③ 地域住民とのコミュニケーション <p>(3) 移住先での暮らし方の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 趣味やレジャーを楽しみたい ② 自然を身近に感じたい ③ 家族や友人との時間を楽しみたい ④ 生活環境や働き方を変えたい <p>(4) 年齢別によるアプローチの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 60歳未満は移住理由が曖昧な傾向 ② 60歳以上は移住理由が明確な傾向 ③ 移住に際しての仕事や給料に関する意見が異なる <p>ここまでで質問・意見があれば。 特になければ先へ進めます。</p>
	井上会長 事務局	<p>議事 2 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業 自治体ヒアリング調査報告について</p> <p>事務局から説明願います。</p> <p>(要点のみ記載)</p> <p>(1) 人口、高齢化率等</p> <p>高齢者は増えているが、若い人も増えているため、高齢化率は下がっている。前期高齢者と後期高齢者の割合が逆転し、後期高齢者が多くなる傾向である。一人暮らしの高齢者が多い。要介護・要支援の認定者は増加傾向である。</p> <p>(2) 高齢者政策</p> <p>地域包括ケアシステムの構築を行っており区内全域をカバーしている。長く住んでもらえる政策を進めている。区外から施設の売り込みも多く、パンフレット等をおいている。CCRCをという議会からの意見はあるが、区外へのCCRCは検討していない。</p> <p>(3) 高齢者の現状</p>

		<p>虐待、経済的虐待が増えている。区内の特養に費用面や医療ケアが必要な関係で入れない人は、区外に出ている。親についてはできるだけ近く、鉄道沿線の施設に入れたい(京浜東北線・東武線・常磐線)。</p> <p>(4) 課題 介護職員の確保が大変。虐待案件や医療依存度の高い人の入所先の確保が困難。</p> <p>(5) 質問・意見 区外に出る場合は、親近感がある土地でないと入所は難しい。匝瑳市は津波などの危険性がないか。移住費や生活費などがどれくらいかかるのかモデルケースを知りたい。自治体間ネットワークを作っている。そこに参加してフェアへの参加などしてはどうか。</p> <p>井上会長 特に質問が無ければ、先に進めたいと思います。</p>
	<p>井上会長</p> <p>事務局</p>	<p>次に、 議事 3 匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画書(案)(平成 29 年 11 月 25 日版)について説明願います。</p> <p>(要点のみ記載) 匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画書 変更案について資料 3 に基づいて説明。主な変更点は次のとおり。 第 2 章 匝瑳市における生涯活躍のまちの位置づけ 第 4 章 匝瑳市版生涯活躍のまちの可能性 第 5 章 5 重要業績評価指標 (KPI) 6 (1) 匝瑳市版生涯活躍のまち事業の目指す姿 (2) 匝瑳市版生涯活躍のまち事業の基本目標 (3) 匝瑳市版生涯活躍のまち重点施策 7 地域間連携 目標達成のための官民連携 第 6 章 1 (1) 医療介護の充実 (2) 住まいの確保 (3) 賑わいの創出 (4) 子育ての支援 第 7 章 2 官民協働と地域連携の推進 第 8 章 計画日程</p>

井上会長	アンケート調査報告書、ヒアリング調査報告書、事業計画書案について意見や質問があればお願いします。
A 委員	都内からの移住で交通機関に関する認識はどうとらえているのか。このアンケート結果は、匝瑳市の交通状況等を提供したうえの結果なのか。
事務局	前回の協議会で出した資料のみでのアンケート回答結果となる。
A 委員	具体的事業について。移住者の声が届く環境の整備や移住者と共に作り上げる事業を行うことで、不安要素を取り除きコミュニケーション環境を整えることに繋がるのではないか。
井上会長	公共交通機関の利便性は良くないが、自然の良い部分はある。他の自治体へのヒアリングも行い、もっと匝瑳市の PR をしていく。
B 委員	移住するに当たり不安な点について、仕事が見つからないということはシビアだと思う。医療介護以外は厳しいだろう。九十九里ホームを主体に介護教育に重点投資していった方が良いのではないか。匝瑳市での仕事の確保は難しい問題。
井上会長	高齢化が進むことによる人口減少を食い止めるために CCRC を進めたい。また、元気高齢者、シルバーの力を活用することはどうか。
C 委員	移住者の不安を取り除き、匝瑳市の魅力を伝えることが大事。趣味と労働を兼ねたものがあれば。千葉県内のヒアリングで反応が良い自治体を利用してもらえれば。
D 委員	匝瑳市は大型プロジェクトがない。匝瑳市は生産力や購買力、経済力が下がって活力が低下してきている。人口減少も原因だが違う要素もあると思う。だから、経済力の活性化が大きな課題になる。匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業のプロジェクトは匝瑳市の命運を握っている。今後、匝瑳市がどの方向に進むのか示唆している。アンケート調査を基に、匝瑳市がどう思われているか、ど

		<p>うする必要があるのかなど全体のことを考えるきっかけになっている。人生 100 年といわれる人生をどう構築していくか。匝瑳市が抱える問題を考える起爆剤になり意見を結集したい。そして、経済力をアップしていきたい。</p>
	井上会長	<p>きっかけになると思う。そのために、どういう肉付けをしていくかを考えていかなければならない。</p>
	E 委員	<p>匝瑳高校の就職希望者が 5 人いない。ほとんどが進学や専門学校のため匝瑳市から出て行ってしまう。そして、就職場所がないため戻ってこない。匝瑳市は高齢者施設が良いこと、気候が良いことが大きなポイントになる。</p>
	F 委員	<p>移住は全国的に実行に移せていない難題だと思う。結婚すると他の自治体に移ってしまうという問題もある。</p>
	G 委員	<p>匝瑳市は、婚活サポーターを募集し人口増加の努力はしているが、働く場所がなければ出ていくのは仕方がないのではないか。</p>
	匝瑳市	<p>婚活事業は平成 23 年度から「出会い創出事業」として取り組んでいる。年 4~5 回イベントを開催し、開始年度には最大男女合わせて 100 人規模で集まっていた。最近では 20 人程度のものを多く開催している。アンケートを取り内容に反映しているが、最近参加者が集まりにくくなっている状況である。また、カップルにはなるが結婚までには至らないことが多い。国等の調査では結婚を求めない割合が増えている。個々のことなので行政がどこまで支援するか難しいが、市としては結婚の手助けのために一生懸命取り組んでいる。</p>
	井上会長	<p>婚活サポートは必要なことだと思う。九十九里ホームの職員は約 800 名。現在は、産前 6 週・産後 8 週の産休、育児時間（午前 1 時間・午後 1 時間）、育児休暇（1 歳まで）が取得できる。そのような仕組みも必要である。</p>
	H 委員	<p>都内の人が移住しても仕事がないことがネックとなる。しかし、仕事がなくとも来たいという人もいる。移住したときにどうい</p>

	<p>仕事を作ってあげられるのか考えれば、匝瑳市の穏やかな地域の特性が活かせるのではないかと。移住して生活できる収入の元があればよい。田をやめていたところや、小山を潰して太陽光発電をしているところがあった。土地の活用方法も変わってきた。また、移住して農業ができる仕組みや空き家を利用したお店ができないか。芸術家みたいなアトリエ施設や観光レジャーとして神社仏閣の補修や宣伝のルートをつくるのも良いと思う。小さくても何か1つでもやれたらよい。</p>
F 委員	<p>貸し農地はどうか。グループで農地を近隣や都市部の人に貸すことを匝瑳市はやっていないか。</p>
匝瑳市	<p>農地法で 50 アール未満の小さい面積では非農家による農地取得はできないという規定がある。しかし、市の農業委員会で見直すことができるため、小さい面積でもできるように現在協議している。また、市民農園として貸農園が 2 か所あり、今も募集している。</p>
井上会長	<p>市民農園は 1 人にどれくらい貸すのか。</p>
匝瑳市	<p>家庭菜園ができるというイメージ。</p>
H 委員	<p>野菜を作るなど結構使える。</p>
F 委員	<p>簡単ではないが、移住した場合このようなことでも楽しめる。</p>
I 委員	<p>東京都 23 区のヒアリングからなじみがある所が良いという意見があった。募集エリアを京葉道路、総武本線の沿線としてはどうか。</p>
事務局	<p>23 区は基本的に高齢者を外にあまり出さない政策をとっているが、サービスはあっても施設は足りないため、匝瑳市を知ってもらい施設の実績を見てもらえれば来てもらえるのではないかと。東京寄りで千葉県内の市のヒアリングも行いたい。</p>
I 委員	<p>進学や雇用のために出ていく人を止めることは難しい。高齢者は</p>

	井上会長	<p>移住する際の選定ポイントとして医療介護を見ている。匝瑳市は医療介護について強い。仕事は成田市もあり、市内でも医療介護、植木、農業、こども園などの強みもある。住民1人1人が広報マンとして匝瑳市から出た人を呼び戻すだけでも人口が増えるのではないか。</p> <p>人を呼び込むためには情報発信が必要。そして、この事業をモデルケースとして定着させる。また、社会情勢の変化に対応する、成田市の交通アクセスを考える等を達成して、人口増加を目指したい。</p>
	井上会長	<p>3 その他</p> <p>資料 5 として議事録を提示している。相違があれば事務局にお伝え下さい。</p> <p>次回は、12月16日。専門部会が13時から、協議会が14時30分から。これからも引き続き協力お願いします。何かあれば、九十九里ホームの法人本部に連絡下さい。</p>
	井上会長	<p>4 閉会</p> <p>閉会の挨拶を行った。</p>